

高速カーフェリー「ニューみかさ」に関する情報

先日、お知恵拝借としてニュースで下記の「ニューみかさ」についての情報提供をお願いした所、たくさんの情報が寄せられました。ありがとうございます。

下記にまとめてみましたので、ご覧ください。

日本クルーズ&フェリー学会会員各位

欧州の船友達から、「ニューみかさ」に関する情報を求められています。私も知らなかったのですが、釜山と対馬間に就航していた「Blue Tsushima」(パナマ籍)が日本船主に購入され「ニューみかさ」となっているが、その船籍が日本船籍になっているのかと、その動向を問い合わせるものです。AIS 情報だと壱岐で係留されているようだとのことですが、ご存じの方があればご教示ください。

こちらで調べたところ、「ニューみかさ」に船名が変わっていることはインターネットで分かり、船主が壱岐対馬シーラインで、この会社が博多と壱岐・対馬間のフェリーを計画していたこと、現在、博多と壱岐対馬間の貨物フェリーを運航する壱岐対馬フェリーにフェリーをチャーターに出していることなどまでわかりました。

現在の動向、現在の船籍等が分かればご教示ください。参考までに同船の写真を掲げておきます。

事務局長 池田良穂

松田琢磨会員

今は日本籍船のようです。ご参考になれば幸いです。

池田⇒松田先生からは IMO 番号に基づく調査結果をいただきました。調査の仕方については、下記の匿名会員から情報をいただきました。ありがとうございます。

福富廉会員

昨年8月1日に壱岐・芦辺港で停泊中(対馬からの「フェリーちくし」入港時)、翌日12日朝、壱岐・郷ノ浦港に現れた姿(「フェリーみしま」で一周中)を添付します。船籍は壱岐市、IM09108245 となっています。昨年、東京九州フェリーで往復して、対馬、壱岐、呼子と回った時の情報ですが、レポートを途中まで書いたまま出せていませんでした。



匿名会員

IMO No のある船であれば、無料登録が必要ではあるものの、PSC のデータベースである Equasis や IMO GISIS の ship and company particulars が検索には有益です。

Equasis, IMO GISIS で調査をしたところ、当該船舶 (IMO No. 9108245) は日本船籍であり、船主は IKI KAIHATSU KK となっております。

住所等から以下の会社のグループ企業である 壱岐開発株式会社と思われる。
株式会社なかはら

<http://www.nakahara-iki.co.jp/group.html>

以下、Twitter の情報では、去年は壱岐市郷ノ浦に係留されていたようです。

https://twitter.com/fk7_100/status/1375750733182627841?t=h0gzUx0BVhD26r8Tc4viAA&s=19

<https://twitter.com/Ferrykyushu/status/1439070121507524613?t=oH8ECb7oIoLpr-J90gDR5g&s=19>

府録会員

既にご存知かもしれませんが、本船は去年の今頃に津久見から壱岐の芦辺港に回航され係船されていましたが夏頃に郷ノ浦港に移り係船されているようです。

ニューみかさ、当時も船籍 PANAMA でした。ほとんど動くことなくずっと係船されていたので今も係船されていると思います。少なくとも去年 9 月は郷ノ浦で係船されており、その後は残念ながら分かりません。

IMO 9108245

AIS では去年 8 月 2 日を最後に止まっていますね。船主・管理者ともに壱岐開発ですね。

Binmei さんが関門海峡の姿を YouTube に掲載されています。

<https://youtu.be/tiUVAel9Fc8>

藤木洋一会員

こんばんは！「ニューみかさ」は、2021 年 3 月 10 日 関門海峡を曳航されて東航しました。マリン・トラフィックで追跡調査していたのですが、臼杵で消えました。

添付された写真は、関門海峡のユーチューバーのもので自力で西航しているようです。壱岐の芦辺港に係留されているようです。

4 月に次回の個展の準備（神々の宿る島）の取材で往訪しますので訪ねて見ようと思っていたところです。

参考までに私が撮影したもの添付します。すでに船名は日本語で記載されています。

Happy ocean cruise 会員

今年 1 月 9 日に壱岐の郷ノ浦港で見かけました。芦辺港行きのバス接続に急ぎチラッとだけジェットフォイルの停泊場所よりも奥の河口に。

池田良穂事務局長

たくさんのお情報ありがとうございました。

この船は、1995年にイタリアで建造されたアルミ合金の単胴超高速カーフェリーで、Corsica Expressとしてコルシカ島航路に就航し、1997年にはSardinia Expressとしてサルジニア航路に転配されました。3560総トン、全長103m、幅14.5m、旅客507人、乗用車150台、37ノット。

2013年には韓国に売却されAraqueensとなり釜山で係船状態となり、2017年に釜山～対馬航路に投入のためパナマ籍に移籍してBlue Tsushimaと改名。新型コロナ禍で対馬航路が運休状態となり、2021年に壱岐に拠点をおく壱岐開発に売却され、「ニューみかさ」として日本籍に移籍したようです。

壱岐開発は、壱岐および対馬での土木工事等を行うほか、セメント船などをもち海運事業も行っていますが、20年ほど前から博多と壱岐・対馬間の旅客船事業への進出を目指しており、壱岐対馬シーラインを設立して中古客船を購入して準備をしていますが、まだ認可が得られないため、その船を博多と壱岐・対馬間の貨物フェリー事業を行う壱岐・対馬フェリー(元大川海運)等にチャーターしたりしているようです。所有船「みかさ」は国のC to Seaプロジェクトのアイドルグループの劇場船「STU48」として2019～2021年の間使われていました。

日本の内航客船航路は、規制緩和によって需給調整の必要がなくなり、原則、自由に参入ができますが、離島航路の一部については指定区間に指定されると、知事等の同意がなければ新規参入は認められず、壱岐・対馬航路についても指定区間のため新規参入が難しくなっている状態で、これまで、何度か申請したものの認可はされておらず計画から20年近くが経過しているようです。

これまでに「みかさ」(元ニューいぜん、STU48)、「フェリーみかさ」(元ぐすく)、高速旅客船「シーマックス」(現「ぱいじま2」として八重山で稼働)等を所有していますが、客船としての運航が認められないため係船中の船を貸す船主業を続けているようですが、旅客船運航の計画は進めているようです。この超高速カーフェリー「ニューみかさ」がその切り札になるのかが注目されます。



サルジニア・エクスプレス時代。1999年、イタリアのチビタベッキア港で撮影。



ブルーツシマとして釜山港で整備中。2018年5月。船籍港はパナマに変わっていた。



ブルーツシマとして釜山～対馬航路に就航中。釜山港に入港時の撮影。



釜山～対馬航路に就航中の「ブルーツシマ」。



関門海峡通過中「ニューみかさ」。(藤木洋一会員撮影)